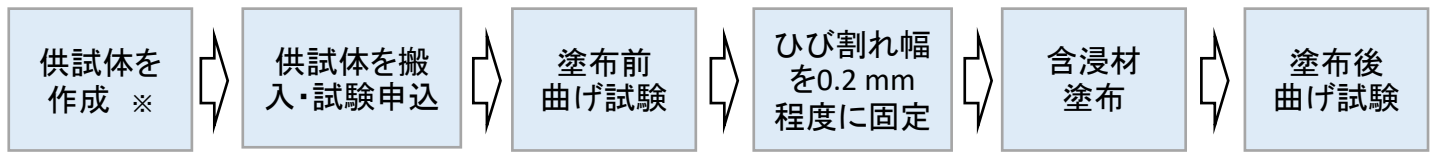


ひび割れ含浸材料の試験 (NEXCO試験法 426)

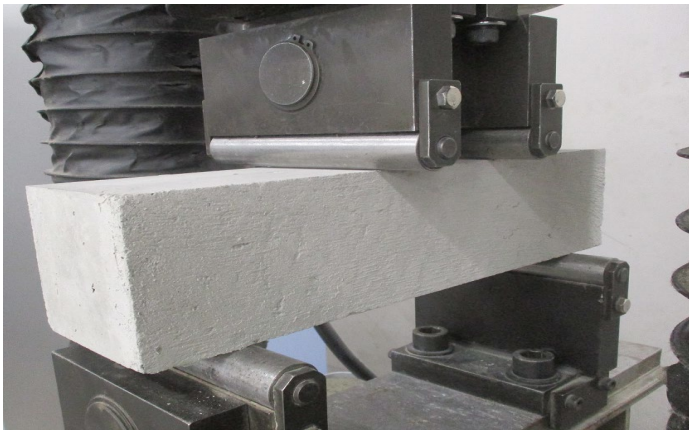
ひび割れ含浸材は、コンクリート構造物の長寿命化に対する補修・補強対策として注目されています。コンクリート構造物の表面に発生している0.2 mm程度以下のひび割れに塗布または散布し緻密化させることでひび割れや空隙が充填され、水や劣化因子の侵入を抑制することができます。

当機構では、「NEXCO試験法 426」に基づき、供試体を用いたひび割れ含浸材料の性能試験を行っています。ひび割れ含浸材を0.2 mm程度以下のひび割れに注入・圧入器具を使用せずに含浸・固化させた際に、他の注入による補修方法と同等の性能を有する材料であるかを評価しています。

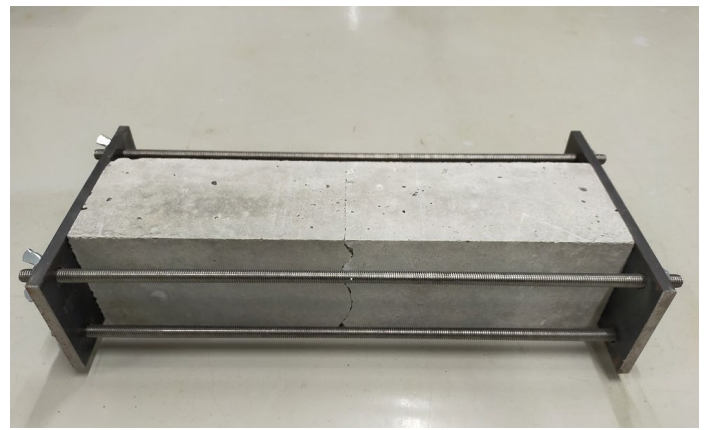
I. 試験の流れ



※供試体作成についてはご相談に応じますのでお問い合わせください。



曲げ試験状況



0.2 mm固定状況

II. 試験方法および引用規格

試験名称 試験引用規格	規格内容	
	試験内容	供試体
ひび割れ含浸材料の試験 NEXCO試験法 426	JIS A 1106 コンクリートの曲げ強度	100×100×400 mm

お問い合わせ先 <https://www.jqa.jp>

一般財団法人 日本品質保証機構

名古屋マテリアルテクノ試験所

〒481-0043 愛知県北名古屋市沖村沖浦39 TEL 0568-24-2204 / FAX 0568-24-1630 E-mail chubu-cstm@jqa.jp